

今日の力

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

十字架に誇りを持つ

聖書朗読 I コリント 1:26～31

しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが決してあってはなりません。この十字架によって、世界は私に対して十字架につけられ、私も世界に対して十字架につけられたのです。 ガラテヤ 6:14

十字架を掲げるのは私たちにとって簡単なことです。沢山の教会の建物に十字架が掲げられています。また、沢山の人々は十字架のネックレスやブローチを身につけています。今日のアメリカでは、十字架が意味するのは個人的な信仰心を示すことと、クリスチャンである意思表示だと思っています。

しかし、初期のクリスチャンたちは違いました。当時、十字架は単に処刑を示す印でした。ですから、礼拝所を十字架で飾ったり十字架を身に付けることは、古代社会においては、礼拝所に処刑道具を置いたり処刑道具を身に付けたりすることと同じでした。今日とは全く違う意味になるのです！そこで、当時のクリスチャンたちは魚のマークをクリスチャンであることのシンボルとして使っていました。それは、イエスがどなたかということを示す五つのギリシヤ語（イエス、キリスト、神の、子、救い主）の頭文字を並べると「魚」の意味になるからです。魚のマークに加え、若い男性が羊を抱いている絵を使うこともありました。

こうした、十字架をクリスチャンのマークとして用いることが消極的な古代社会において、パウロは十字架を誇りましたのです。『なぜなら、神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。』（Ⅰコリント 1:25）。そして『キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。』（Ⅰペテロ 2:24）。

讚美歌 136

祈り 「この身とたまを、とこしえまで、わが主のものとなさせたまえ」(讚美歌136番4節後半)。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

スティーブン・レムリー
(編集者)

2月28日 (火)

神 の イ メ ー ジ で

聖書朗読 創世記 1:20-28

神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。
創世記 1:27

日曜の朝の礼拝の際、献金皿が回って来ました。母親が娘に 25 セント硬貨を 2 枚渡して、「1 枚はそのまま持っていて良いけど、1 枚は神様にあげるのよ」と言いました。その小さな女の子は頷き、席を立ち、献金皿を回していた係の人たちを見て、大きな声で係の人たちに「どの人が神様ですか？」と言いました。

周りの人々は笑いました。その質問に答えるなら「神様が人を作られた時、神様のかたちに似せて造られたから、みんな神様のように見えるかもね」と答えられるかもしれません。

私たち一人ひとり、神様のかたち（イメージ）に似せて作られたのです！ 私たちは神様が愛の方であることを知っています。ですから、私たちが愛を実践する存在だということが、神様に似せて造られた一番の証拠かもしれません。

神様は共にいて下さり、また私たちの内にいて下さります。もちろん神様は唯一の存在であり、私たちを神に似るものとして創造出来るのは万能の神様のみです。いかなるときも、神様が私たちを導いて下さいますように。

神の尽きせぬ愛により愛され、導かれ
御霊は私に教えてくださった
主は私を愛してくださっている
そして私も主を愛するために造られた
—— ウェイド・ロビンソン

讃美歌 321

祈り 親愛なる神よ。私たちの善きお手本であるイエス様をこの地上に送って下さり、ありがとうございます。イエス様に近づけるよう、私たちを助けて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジョイス・ハーディン
テキサス州 オースティン

3月1日 (水)

神 様 を お 手 本 に

聖書朗読 創世記 3:1-8

あなたがたがそれを食べる時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。
創世記 3:5

クリスチャンは神様をお手本にするようにとされています。今以上に神様に似る者となることは最終的なゴールですが、その目的を目指し歩んで行く道は険しいです。蛇が人類最初の夫婦を誘惑した出来事が正にそのことを示しています。聖書では私たちは神様のように聖くあり、倫理、道徳的にも神様に似るものとなるよう言われています。しかし私たち人間は、力と特権で神様のようになりたいと間違えた考えを抱きがちです。まず、その間違えた考えを抱いたのがエバでした。誘惑に引っかかりました。そして現在でも、私たちは「自己中心的な生活・生き方」という誘惑と苦勞しながら闘っています。

蛇は、次のような考えをエバに植え付け、騙しました。つまり、神様は何か良いものをエバから奪い去ろうとしている。神様の命令は守らなくてもよい。そして神様は嫉妬深い独裁者のような方だ、といった間違えた考えを、蛇はエバに植え付けたのです。そして、蛇が言ったことをエバは完全に信じてしまったのです。神様から食べてはならないと言われた木の実を食べることが正しいことに思えたのです。私たちはこのように誘惑に負けるのです。もし、私たちが神様の視点に立って物事を判断出来れば、（誘惑に陥ることは）破壊的なことに繋がることに気が付くはずで、私たちは欠陥がある人間だという事実を自覚すべきです。完全な人間など誰ひとり居ないのです。力や特権・自己中心的な生き方とは正反対の生きたかをお選びになった、主キリストから学びましょう。ペリピ人への手紙2章6節〜7節には『キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ・・・』と書かれています。この聖句を心に刻みましょう。

讃美歌 121

祈り 父である神様。私たちが誘惑に惑わされないよう助けて下さい。自分達を過剰に評価しない様見守って下さい。御前に跪けるよう助けて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

デイブ・ブランド
テネシー州 メンフィス

3月2日（木）

強 い 信 仰 心

聖書朗読 創世記 12:1～9

信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。

ヘブル 11:8

数年前、知り合いの一家がアフリカへ福音宣教のため行くことを決めました。その考えは彼らにとっては大変わくわくするような計画で、支援金を集めて、アフリカへ引っ越しました。到着するとほぼ同時に、発展途上国の不便な生活には、心の準備が出来ていなかったことに気が付きました。彼らはがっかりしてホームシックにもなり、惨めな気分になりました。現地の文化、食べ物、気候、そして不便さに慣れることが出来なかったのです。間もなく、一家はアメリカへ戻って来ました。彼らはそんなにすぐ帰国することになったことを恥じていました。

アブラハムとサラが、神様が指し示す地へ行った時、彼らはどのように感じていたのでしょうか。元々居た地へ戻りたいと思ったことはなかったのでしょうか？彼らはどこへ行くのか知らなかったのですが、神様の約束を信じていました。

私の信仰はアブラハムたちのように強いだろうか・・・と考えさせられます。明日、何が起きるかは分かりません。死や悲惨なことが将来起きるかもしれません。私の信仰はそんな時を神と共に乗り越える強さがあるのでしょうか？ 信仰心なしで神様を喜ばせることは出来ません。私たちは信仰により、歩んで参りましょう。

信仰はどこへ導くかわからない

しかし信仰によって、

誰が私たちを導いて下さっているのかという確信がある

オズワルド・チェンバース

讃美歌 270

祈 り 神よ。私たちの信仰が弱まってしまうことがよくあります。信仰を強め、あなたにより頼めるよう助けて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

グレン・ボイド

アーカンソー州 サーシー

3月3日（金）

な ぜ 私 な の で し ょ う か ？

聖書朗読 創世記 25:19～26

それから、イエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈って言われた。「わが父よ、できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのように、なさってください。

マタイ 26:39

私たちは傷付いた時「なぜ私がこんな目に？」と言いたくなります。イサクは子どもに恵まれなかった時、妻のために神様へ祈りを捧げました。神様はイサクの祈りに応えられました。

リベカが悩みを抱えていた時「どうしてこんなことが私の身に起こるのですか？」と祈りを捧げました。同じ母の立場としてレベカの気持ちが痛い程分かります。自分のお腹の中にいる双子が、将来争い合うことになるなんて、なんとつらいことでしょう。

イエス様は地に跪き、額を地に付け、受難の回避を祈りました。しかし同時にイエス様は、御心を受け入れることも望んでおられました。

『神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。』（ローマ 8:28）。この聖句は理解するのが最も難しい聖句の一つかもしれません。私たちは、「私たちが一番良いと考える道こそ最善の道」とつい言いたくなってしまうからです。

そんな時はヤコブ 5 章 13 節を覚えましょう。『あなたがたのうちに苦しんでいる人がいますか。その人は祈りなさい。喜んでいる人がいますか。その人は賛美しなさい。』

讃美歌 310

祈 り 神よ。何か問題があった時は祈りにより、助けを求められるようお導き下さい。御心に沿い、生きられますように。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ゲイネレ・トーマス

ニューメキシコ州 ポータルズ

3月4日（土）

働 き 続 け ， 待 ち 続 け る

聖書朗読 創世記 29:1～14

ヤコブはラケルを愛していた。それで、「私はあなたの下の娘ラケルのために七年間あなたに仕えましょう」と言った。 創世記 29:18

イサクは息子のヤコブに、伯父ラバンの娘の一人と結婚して欲しいと思っていました。一か月後、ラバンは『どういう報酬がほしいか、教えてください。』（創世記 29:15）と言い、ヤコブは『私はあなたの下の娘ラケルのために七年間あなたに仕えましょう。』と言いました（29:18）。ヤコブは、ラバンの長女レアより美人だった末娘のラケルを愛していました。

ヤコブはラケルとの結婚を期待しつつ約 2,555 日働きました。ヤコブにとってこの七年間は「彼女を愛していたので、それもほんの数日のように」思われました。ところが、約束の七年後、伯父ラバンは、ラケルではなくレアをヤコブに与えました。

ラケルではなくレアだったことに気が付いたヤコブは、どんなに残念に思ったことでしょう。ヤコブはラバンに「私があなたに仕えたのは、ラケルのためではなかったのですか。なぜ、私をだましたのですか。」と尋ねました。するとラバンは「われわれのところでは、長女より先に下の娘をとつがせるようなことはしないのです。それで、この婚礼の週を過ぎなさい。そうすれば、あの娘もあなたにあげましょう。その代わり、あなたはもう七年間、私に仕えなければなりません」と言いました。

ラバンは人を騙すことに長けていました。ヤコブはラケルのために、約 5,110 日も働いたのです。

時に、人生で不公平感を感じることがあります。ヤコブの忍耐、そして粘り強さは私たちに「待つこと」について教えてくれます。

讃美歌 298

祈 り 親愛なる神様。残念な出来事が起きた時、どうしてそれが自分の身に起こったのか理解できない時があります。全ては御心通りであることを思い起こさせて下さい。日々の歩みの中で、人々を赦し、理解出来るよう助けて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

スー・ラザム

カリフォルニア州 アンテロープ

3月5日（日）

善 き お 手 本 の ヨ セ フ

聖書朗読 創世記 41:25～32, 37～46

パロはなおヨセフに言った。「さあ、私はあなたにエジプト全土を支配させよう。」 創世記 41:41

ヨセフは勇気がある人でした。そして強い忍耐力も持ち合わせていました。ヨセフの人生はまるで卓球のボールのように激動の人生でした。父ヤコブのお気に入りの息子でしたが、兄弟たちから裏切られ、奴隷として売られてしまいました。その後エジプトの役人（侍従長）の信頼を得て働く機会もありましたが、やがて投獄されてしまいます。しかし、最終的にはエジプトにおける英雄的存在になるのです。

ヨセフの人生は波乱万丈で、それが人の心を捉えます。そんな人生でもヨセフは、揺らぐことのない目的意識と価値観を持ち、与えられた環境において最善をなそうと努め、いつも家族のことを気にかけていました。

彼の人生において、落胆するような日も沢山あったでしょう。自分のことを忘れられてしまったり、無実の罪で投獄される時もありました。そんな時、彼はとても悲しかったことでしょう。これは大変な苦悩のはずです。

しかしヨセフは、自分が父の許にいようとも、エジプトの王パロの許にいようとも、忍耐強くありました。どんな状況にあらうとも神様が導いて下さることを知っていたのです。今、置かれている状況に左右されることなく、全能の神様にゆだねるべきだと知っていたのです。苦境に悩んでいようとも、従うべきお方はひとりなのです。私たちもヨセフの生き方から学ぶことが出来るのではないのでしょうか。

讃美歌 294

祈 り 神様。ヨセフの生き方から学ぶことが出来ました。どんな困難な状態にあらうとも、ヨセフのように神様を信じて過ごせますように。あなたこそ、唯一の私たちが従うべきお方だと知っています。どうぞお導き下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

バージル・フライ

テキサス州 ヒューストン